

令和 7 年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和 6 年度対象)



令和 7 年 7 月
市貝町教育委員会

はじめに

市貝町教育委員会では、明日の市貝町を担う人づくりのため、令和3年3月に策定された第6次市貝町振興計画後期基本計画 第2編 基本目標ごとの個別施策の基本目標4において「誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち」という教育推進の総合的指針を定めています。また、町の教育・学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や方針を定めた、「市貝町教育大綱」も町振興計画後期計画を受け、改訂しています。これらの中の教育計画・施策では、（１）学校教育・就学前保育・教育の充実、（２）生涯学習の推進、（３）尊重しあう社会の形成を柱とし、その推進にあたっては町民の皆様の御理解・御協力を得て取り組んでいるところです。

こうした取り組みを進めるにあたっては、事業の進捗状況を町民の皆様に示しつつ各施策・事業が着実に実施されているか、また、効果的に実施されているかを点検・評価し、改善していくことが肝要です。

一方、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、各教育委員会は毎年教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することとされています。本報告書はこの趣旨に基づき、令和6年度に実施した施策・事業についての点検・評価結果を総括的にまとめたものです。また、点検・評価にあたり、学識経験者から御意見をいただき、反映させていただきました。

本町教育委員会では、本報告書の点検・評価結果を十分に踏まえ、町民の皆様に対する説明責任を果たしつつ施策・事業の改善を図り、今後とも一層の教育の推進に取り組んで参ります。

令和7年7月

市貝町教育委員会

1 趣旨

本町教育委員会では、本町教育の基本目標を「第6次市貝町振興計画」（平成28年3月）第Ⅱ部 基本構想の第2章 第4節に位置づけ、それを実現するための施策の大綱として、「市貝町教育大綱（市貝町教育振興基本計画）」を策定し、取り組んでいるところです。

一方、平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成20年4月1日施行）され、毎年教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果について報告書を作成し、議会に提出するとともに公表をすることになりました。

2 ねらい

町の教育施策を進めるにあたり、事業の進捗状況を町民の皆様に示しつつ、各施策・事業が着実に実施されているか、かつ、効果的に行われているかを点検・評価していくことが必要だと考えております。また、その結果を公表することによって町民の皆様に説明責任を果たし、さらに施策・事業を充実させることがねらいです。

3 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本町の「第6次市貝町振興計画」（平成28年3月）第Ⅱ部 基本構想の第2章 第4節の「誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち」に沿った施策・事業とします。

4 点検・評価の方法

「誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち」に位置づけた施策・事業ごとに、必要性、効率性、公平性の観点から点検・評価を行い、教育大綱策定時の基準年度である令和元年度から進捗状況を明確にし、今後の課題等を示します。また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図り、それらの意見・助言を反映させることとします。

点検・評価にあたっての学識経験者

氏 名	役 職 等
小 森 信 之	元公立中学校長
松 岡 あ ゆ み	家庭教育オピニオンリーダー
揚 石 哲 司	元栃木県PTA連合会会長
青 木 友 之	元行政職員

5 評価のしくみ

学校及び教育委員会により自己評価を実施し、検討会議により学識経験者の意見を反映し、総括的な評価を行います。

6 結果の取扱い

点検・評価においては、施策・事業ごとの目標指数に対する実績値及び達成率で評価します。特に達成率の低い施策・事業については、課題の解決を図り、改善・事業見直しを図ります。

市貝町教育大綱（市貝町後期教育振興基本計画）

基本目標 4 誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち

基本施策		目標指標	単位	現状値 R 1	中間目標値 R 4	目標値 R 7
1	子ども・子育て支援の充実	保護者のニーズに対応した保育内容充実が図られていると回答した保護者の割合	%	67.0	68.0	70.0
		地域子育て支援センター利用者数	人	2,166	2,400	3,000
		ファミリーサポートセンター支援事業登録者数	人	40	60	100
2	確かな学力と自立する力の育成	「英語が好き」と答えた児童生徒の割合	%	60.9	68.0	85.0
		学力の達成度（小・中）		県平均とほぼ同じ	県平均超教科数 1	県平均を上回る
		学習用端末を活用した授業		—	1 週間内教科数 1	毎日
		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると答えた児童生徒の割合	%	小学校 74.0 中学校 57.6	小学校 74.5 中学校 58.0	小学校 75.0 中学校 60.0
3	豊かな心と健やかな体の育成	スクールカウンセラーによる教育相談	日	30	60	90
		全国体力・運動能力、運動習慣等（小・中）調査（小5・中2：Tスコア）	(80点満点)	50.8	51.0	51.5
		学校給食の地場産物使用割合	%	48.2	50.0	52.0
4	教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援	学習指導助手、特別支援教育補助員の配置数	人	8	11	13
		トイレの洋式化	%	44.3	50.0	96.4
		家庭と学校とでオンライン授業が実施可能な割合	%	0	100	100
		学校のバリアフリー化（スロープ等による段差解消）	校	1	1	4
		子ども110番の家設置数	軒	218	220	230
		青色パトロールカー配備数	台	0	2	3

基本施策		目標指標	単位	現状値 R 1	中間目標値 R 4	目標値 R 7
5	学校・家庭・地域の連携と教育力の向上	学校支援ボランティアの登録者数	人	66	70	75
		部活動指導員の配置数	人	0	2	3
		コミュニティ・スクールの設置数	校	0	1	4
6	生涯における学びの支援	城見ヶ丘大学教室講座参加（登録）者数	人	1,714	1,720	1,750
		図書館の利用者数	人	47,689	49,000	52,000
		歴史民俗資料館の入館者数	人	8,272	8,500	9,000
		図書・CD等貸出数	点	70,440	73,000	77,000
		図書館郷土資料蔵書数	冊	7,038	7,150	7,270
7	文化・芸術の振興	指定文化財数	件	41	43	46
		入野家住宅来館者数	人	1,205	1,250	1,300
		音楽芸能大会参加（団体）数	団体	34	34	34
		ギャラリー展出品数	点	400	425	450
8	スポーツ及びレクリエーション活動の推進	生涯スポーツ参加者数	人	2,035	2,400	3,000
		ニュースポーツ教室	件	17	20	22
		総合型スポーツクラブ会員数	人	297	320	350
		農業者トレーニングセンターの利用団体数	団体	0※	13	15
		各種スポーツ団体、サークル数	団体	50	52	55
		学校施設の利用団体数	団体	32	25	30
9	人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進	町設置各種委員会の女性委員の割合	%	26.40	28.00	30.00
		特設人権相談所の開設回数	回	4	5	6
		ジュニアリーダースクラブ会員の各種行事への参加率	%	41.3	45.0	50.0

目標指数の点検・評価

施策1 子ども・子育て支援の充実

重点目標	すべての家庭が安心して子育てできるよう、地域全体で子育て家庭を支えとともに、子育て環境を整備し、一人ひとりの個性を生かした幼児教育・保育を推進します。
------	---

重要施策

1 子育て家庭への経済的な支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを持つ親の経済的な負担を軽減するため、各種手当の利用促進、助成の充実
2 保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> 延長保育や休日保育、病児保育、子育て支援短期事業（ショートステイ、トワイライトステイ）など、保護者のニーズに対応した保育内容の充実 ファミリーサポート事業の充実と利活用の推進 自然の中で遊べる機会を提供し、豊かな情操を育てる 地産地消を通じた食育の実践 高齢者や障がい者などとの交流を行い、共生社会の理解を深める
3 地域の子育て環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センターの充実を図り、子育て世代の交流の場を提供 老朽化した保育施設を地域の多世代交流の場として再編する 豊かな自然や文化財を知る機会を増やす
4 幼児教育・保育の充実促進	<ul style="list-style-type: none"> 幼児一人ひとりに応じた教育・保育を推進 幼保小の連携を図る 公立の認定こども園の設置
5 保育士の待遇改善	<ul style="list-style-type: none"> 保育する側と保育される者が安定的な関係を継続できるよう待遇を改善する 研修等を充実し、保育士等の資質向上を図る

1-1 目標指数

成果指標		保護者のニーズに対応した保育内容充実が図られていると回答した保護者の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	67.0		68.0	70.0
年度	実績値	中間目標値に対する達成率	目標値に対する達成率	自己評価
R3	95.8	140.9	136.9	令和6年度の実績については、高評価の結果を得られた。特に医療的ケア児の受入に際し看護師を配置したことで、町立保育所の保健衛生体制が強化されたことが評価に繋がったと考えられる。引き続き、保護者のニーズに答えられるよう保育内容の充実に努める。
R4	96.3	141.6	137.6	
R5	96.5		137.9	
R6	96.8		138.3	
R7				

目標指数の点検・評価

施策1 子ども・子育て支援の充実

1-2 目標指数

成果指標		地域子育て支援センター利用者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	2,166		2,400	3,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	469	19.5	15.6	<p>出生数の減少や、早期から保育施設に所属する世帯が多く、子育て支援センターの利用者は前年より減少している。</p> <p>利用者の大幅な増は見込めないものの、新たな子育て世帯を呼び込めるようイベントの内容等について検討を行う。</p>
R4	182	7.6	6.1	
R5	332		11.1	
R6	295		9.8	
R7				

1-3 目標指数

成果指標		ファミリーサポートセンター支援事業登録者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	40		60	100
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	58	96.7	58.0	<p>利用登録者数は目標値を超える状況となっている。</p> <p>養成講座を毎年実施するなどして会員増加に繋がっている。</p> <p>令和7年度からお試し利用の補助も開始する予定であり、今後も利用しやすい環境の整備に努める。</p>
R4	66	110.0	66.0	
R5	90		90.0	
R6	110		110.0	
R7				

目標指数の点検・評価

施策2 確かな学力と自立する力の育成

重点目標	確かな学力を身に付け、多様化する社会に対応できる児童・生徒を育成します。
------	--------------------------------------

重要施策

1 確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼・保・小・中学校間の連携・接続の推進 ・ 外国語指導助手（ALT・JTE）の配置と国際交流事業、イングリッシュデー等による国際理解、交流事業の推進 ・ 学校ICTの活用による新たな学びの推進 ・ 特別支援教育の充実
2 自立する力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育の充実 ・ サシバの繁殖と渡りの観察を通じた環境教育の推進 ・ 地域の歴史・文化資源や人材を活用したふるさと教育の充実 ・ 地域活動やボランティア活動などの体験を通じた学びの推進 ・ 学校畑やアグリ体験をとおした食育の推進

2-1 目標指数

成果指標		「英語が好き」と答えた児童生徒の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	60.9		68.0	85.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	57.5	84.6	67.6	令和6年度は、全国学力・学習状況調査における小学校6年生と、とちぎっ子学習状況調査における中学校2年生の質問紙調査に本項目が含まれていた。 令和6・7年度は宇都宮大学教職大学院に本町英語科教員を派遣していることから、英語・外国語の授業改善を図り、児童生徒の学習意欲の向上を図っていく。
R4	60.6	89.1	71.3	
R5	54.4		64.0	
R6	74.5		87.6	
R7				

目標指数の点検・評価

施策2 確かな学力と自立する力の育成

2-2 目標指数

成果指標		学力の達成度(小・中)		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
	県平均と ほぼ同じ		県平均超 教科数 1	県平均を 上回る
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	ほぼ同じ	0.0	0.0	全国学力・学習状況調査(小6・中3)、とちぎっ子学習状況調査(小4・小5・中2)の国語と算数・数学において県平均と比較したところ、県平均を上回っている教科数は4であった。 各校においては、本調査結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。教育委員会としては、授業研究会等をととして支援していく。
R 4	ほぼ同じ	0.0	0.0	
R 5	ほぼ同じ		0.0	
R 6	ほぼ同じ		0.0	
R 7				

2-3 目標指数

成果指標		学習用端末を活用した授業		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
	—		1週間内 3日以上	毎日
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	1週間内 2日以上	66.6	40.0	端末の運用4年目となり、各校ともほぼ毎日授業で活用しているほか、令和5年度から引き続き全校で週末の端末持ち帰りを開始し、より効率的に端末を活用することができた。 児童生徒も端末の利用に慣れてきたことから、学びの振り返りの蓄積から課題を把握できるよう意識付けを行い、特に算数科ではそれぞれが自分に合ったレベルや難易度の課題に取り組むことができた。
R 4	1週間内 3日以上	100.0	60.0	
R 5	1週間内 4日以上		80.0	
R 6	1週間内 4日以上		90.0	
R 7				

目標指数の点検・評価

施策2 確かな学力と自立する力の育成

2-4 目標指数

成果指標		地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると答えた児童生徒の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	小学校 74.0 中学校 57.6		小学校 74.5 中学校 58.0	小学校 75.0 中学校 60.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	小学校62.8 中学校61.9	84.3 106.7	83.7 103.2	令和6年度の全国学力・学習状況調査における質問紙調査において、問いの文言が「何をすべきかを考えることがある」から「何かしてみたいと思う」に変更された。そのため、令和5年度と単純比較はできないが、自発的な行動を問う質問に変わったことが、特に中学校の実績値を高めることにつながったと考える。
R4	小学校56.1 中学校50.1	75.3 86.4	74.8 83.5	
R5	小学校85.9 中学校59.8		114.5 99.7	
R6	小学校92.3 中学校85.6		123.1 142.7	
R7				

目標指数の点検・評価

施策3 豊かな心と健やかな体の育成

重点目標	生涯にわたって学び続ける意欲と夢をもち、心優しく健やかな「いちかいっ子」を育てます。
------	--

重要施策

1 豊かな心と健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「さしばの里」の生き物調べを通した命を尊重する教育の推進 ・道徳教育や青少年赤十字活動(JRC)をととした「こころ」の教育の推進 ・スクールカウンセラー等による教育相談の充実 ・体力向上のための運動習慣づくりへの取組をととした、児童生徒の健康づくりと体力の向上 ・地域と連携した食農教育の充実と地産地消の推進
-----------------	---

3-1 目標指数

成果指標		スクールカウンセラーによる教育相談		
単位	現状値 (R 1)		中間目標値 (R 4)	目標値 (R 7)
日	30		60	90
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	31	51.7	34.4	町教育委員会として、スクールカウンセラーを1名、赤羽小学校を中心に配置している。月に2日来校し、相談が受けられる環境を整えることで、児童生徒の発達に対する早期対応の面から有効であると考えている。 令和6年度は、発達検査の対応件数が増えたことにより、前年度より実績が増えた。令和7年度は対応日数を増やして日程調整を行うことで、計画的に教育相談を行う。
R 4	37	61.7	41.1	
R 5	45.5		50.6	
R 6	48.5		53.9	
R 7				

目標指数の点検・評価

施策3 豊かな心と健やかな体の育成

3-2 目標指数

成果指標		全国体力・運動能力、運動習慣等(小・中)調査(小5・中2:Tスコア)		
単位	現状値 (R 1)	中間目標値 (R 4)		目標値 (R 7)
(80点満点)	50.8	51.0		51.5
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	51.2	100.4	99.4	令和6年度は小5・中2どちらも、そして男女ともTスコアが平均を上回る結果となった。 全国的に課題とされているボール投げでは、本町児童生徒は平均をやや上回る状況である。 引き続き、各校において体育的要素を取り入れた活動を取り入れたり、県のエキスパートティーチャー派遣事業を活用したりして、児童生徒の体力向上を図る。
R 4	51.5	101.0	100.0	
R 5	49.2		95.5	
R 6	51.0		99.0	
R 7				

3-3 目標指数

成果指標		学校給食の地場産物使用割合		
単位	現状値 (R 1)	中間目標値 (R 4)		目標値 (R 7)
%	48.2	50.0		52.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	72.8	145.6	140.0	栄養教諭、各学校の学校栄養士を中心に、積極的に地場産物(県内産品)を活用したことにより、令和6年度についても目標を上回る結果となった。 町内産の有機農産物を活用した給食の提供については、学期ごとに1回から年間6回に増やし実施した。今後は更に回数を増やしていくとともに、引き続き地場産物の使用を推進していく。
R 4	81.6	163.2	156.9	
R 5	76.0		146.1	
R 6	80.8		155.3	
R 7				

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

重点目標	質の高い学校教育を推進するための環境の充実を図ります。
------	-----------------------------

重要施策

1 教育環境の充実 及び児童生徒への 継続的な支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導助手、特別支援教育補助員を配したきめ細かな教育支援の充実 ・老朽化した学校施設・設備の適正な維持管理と長寿命化計画による改修 ・ICT教育やプログラミング教育を充実するための体制づくりと環境の整備充実 ・防犯カメラの設置、青色パトロールカーの整備、子ども110番の家の充実等、防犯や通学路の安全確保 ・バリアフリー化の整備推進 ・各種手当や助成、進学支援等の充実
---------------------------------	---

4-1 目標指数

成果指標		学習指導助手、特別支援教育補助員の配置数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	8		11	13
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	12	109.1	92.3	令和6年度より、学習指導助手を学習指導支援員とし、T1として授業を実施することとした。各支援員が教科のねらいを踏まえた授業の実践に向けて、教育委員会として支援していく。 また、小学校における特別支援教育補助員の配置は、きめ細やかな教育支援の充実に寄与していることが学校から報告されている。配置が継続できるよう、取り組んでいく。
R4	12	109.1	92.3	
R5	14		107.7	
R6	15		115.4	
R7				

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

4-2 目標指数

成果指標		トイレの洋式化		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	44.3		50.0	96.4
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	53.9	107.8	55.9	<p>令和5年度に行った小学校3校の校舎トイレ洋式化工事以降は、老朽化等の状況も踏まえ、引き続き施設のあり方について検討を行っている。</p> <p>令和6年度は、校舎・体育館等の照明設備のLED化が完了し、児童生徒の学習環境の充実や防災機能の向上を図ることができた。</p>
R4	56.2	112.4	58.3	
R5	80.3		83.3	
R6	80.3		83.3	
R7				

4-3 目標指数

成果指標		家庭と学校とでオンライン授業が実施可能な割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	0.0		100.0	100.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	100.0	100.0	100.0	<p>1人1台端末の持ち帰り活用に伴い、Wi-Fi環境が整っていない家庭に対しては、ポケットWi-Fiを貸与することでオンライン授業を可能にしている。</p> <p>今後は、ポケットWi-Fi貸与と併せて、各家庭におけるWi-Fi環境整備を依頼していきたい。</p>
R4	100.0	100.0	100.0	
R5	100.0		100.0	
R6	100.0		100.0	
R7				

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

4-4 目標指数

成果指標		学校のバリアフリー化(スロープ等による段差解消)		
単位	現状値 (R1)		中間目標値 (R4)	目標値 (R7)
校	1		1	4
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	1	100.0	25.0	市貝中学校において、移動式のスロープを導入したことにより、利便性の向上を図ることができた。また、令和6年度は、町内小中学校全校のバリアフリー化工事実施設計を行い、目標に向け順調に事業が進んでいる。令和7年度においても、早期にバリアフリー化が完了できるよう、工事の早期発注に努めるとともに学校運営に支障が無いよう工事を行い、事業を推進していきたい。
R4	1	100.0	25.0	
R5	1		25.0	
R6	1		25.0	
R7				

4-5 目標指数

成果指標		子ども110番の家設置数		
単位	現状値 (R1)		中間目標値 (R4)	目標値 (R7)
軒	218		220	230
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	220	100.0	95.7	自治会や自治公民館(40館)で組織する町自治公民館連絡協議会、町青少年健全育成推進委員会、町PTA連絡協議会などの関係団体に協力を得るとともに、町ホームページを活用し「子ども110番の家」の周知及び指定数(登録者)増に取り組んだ。今後も、地域や関係団体等の理解・協力を得ながら「子ども110番の家」指定数の増加に努める。
R4	218	99.1	94.8	
R5	218		94.8	
R6	220		95.7	
R7				

目標指数の点検・評価

施策4 教育環境の充実及び児童生徒への継続的な支援

4-6 目標指数

成果指標		青色パトロールカー配備数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
台	0		2	3
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	2	100.0	66.7	P T A主体の巡回のほか、スクールガードリーダーによるパトロールにより、児童の下校時の安全確保に大いに効果があった。 スクールバスの拡充により、登下校の安全性は向上しているが、さらなる安全性の向上のため、利用者の拡大や研修等を引き続き行っていく。
R4	3	150.0	100.0	
R5	3		100.0	
R6	3		100.0	
R7				

目標指数の点検・評価

施策5 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

重点目標	学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを守り育てる環境づくりを目指します。
------	--------------------------------------

重要施策

1 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を積極的に活用した子どもの学習意欲の向上 ・地域人材や地域企業を活用した学習機会の充実 ・部活動指導員を配した専門的な部活動支援 ・スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）を介して学校と家庭の連携を促進する ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の設置と学校運営の改善
----------------------	---

5-1 目標指数

成果指標		学校支援ボランティアの登録者数		
単位	現状値（Ｒ１）		中間目標値（Ｒ４）	目標値（Ｒ７）
人	66		70	75
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	69	98.6	92.0	支援が必要な子どもへの国語、算数の指導や図書の読み聞かせ、農業体験、福祉体験など様々な分野において地域の方にボランティアとして指導いただくことで、学習意欲の向上やきめ細やかな指導につながっている。実績としては昨年度より微増となったが、引き続き様々な場で声かけを行いボランティアの確保に努める。
R 4	62	88.6	82.7	
R 5	65		86.7	
R 6	68		90.7	
R 7				

目標指数の点検・評価

施策5 学校・家庭・地域の連携と教育力の向上

5-2 目標指数

成果指標		部活動指導員の配置数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	0		2	3
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	0	0.0	0.0	昨年度から引き続き、卓球部、バレーボール部に1名ずつを配置し、教職員の負担軽減に効果があった。 しかし、指導者の確保と後進の育成は、大きな課題となっており、部活動の地域移行の最大の障壁であると考えられる。町としても、子どもたちのスポーツ・文化に触れる機会が損なわれないよう慎重に部活動の地域移行を進めていきたい。
R4	2	100.0	66.7	
R5	2		66.7	
R6	2		66.7	
R7				

5-3 目標指数

成果指標		コミュニティ・スクールの設置数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
校	0		1	4
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	0	0.0	0.0	令和5年度には、町全体で1つの学校運営協議会を立ち上げたため、町内すべての小中学校がコミュニティ・スクールとなった。 学校ごとに設置した分科会により、学校ごとに必要な支援を整理し、必要な人材を学校に提供することができたことから、一定の効果を上げたものと考えられる。 今後はコミュニティ・スクールの制度を活用し、学校と保護者及び地域住民との間の信頼関係を深め、さらなる児童生徒の健全育成に取り組みたい。
R4	0	0.0	0.0	
R5	4		100.0	
R6	4		100.0	
R7				

目標指数の点検・評価

施策6 生涯における学びの支援

重点目標	生涯にわたり学習を楽しむ環境が整っており、学習成果をとおして地域社会に貢献する人材の育成を目指します。
------	---

重要施策

1 生涯における学びの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰でも」「いつでも」「どこでも」学べる学習機会の提供、及び環境づくりの推進 ・社会教育施設の計画的な維持管理 ・町民のニーズや現代的課題に応じた城見ヶ丘大学教室講座を開設するとともに、学びを社会生活に実践できるように支援する ・郷土の歴史や文化を発信する拠点となる魅力的で利用しやすい図書館・歴史民俗資料館の運営の実現
---------------	--

6-1 目標指数

成果指標		城見ヶ丘大学教室講座参加(登録)者数		
単位	現状値 (R1)		中間目標値 (R4)	目標値 (R7)
人	1,714		1,720	1,750
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	929	54.0	53.1	令和6年度は、「市貝町立城見ヶ丘大学」において、6つの新規講座を含む、32の教室・講座を開設した。需要に応じた新規講座を開設し、受講者の拡大に取り組んだ結果、前年と比べ受講者が119人増加する結果となった。 今後も、町民のニーズに応じた新規講座の開拓するとともに、広報誌やホームページを活用して、積極的なPRに取り組み、さらなる受講者数の拡大を図る。
R4	1,093	63.5	62.5	
R5	1,241		70.9	
R6	1,360		77.7	
R7				

目標指数の点検・評価

施策6 生涯における学びの支援

6-2 目標指数

成果指標		図書館の利用者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	47,689		49,000	52,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	27,716	56.6	53.3	ここ数年、比較的廉価で長期間利用可能な資料で、かつ幅広い年齢層に需要のあるコミックの充実に取り組んだ。新たにコミックの棚を増設したほか、積極的に寄贈を受け入れ、資料の充実を図った。その結果、館内の読書スペースで本を読んでいる利用者が多く見られるようになり、年間をとおした、利用者数の増加につながっているものとみられる。
R4	29,148	59.5	56.1	
R5	29,721		57.2	
R6	33,450		64.3	
R7				

6-3 目標指数

成果指標		歴史民俗資料館の入館者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	8,272		8,500	9,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	981	11.5	10.9	令和6年度には「市貝町の宮大工・彫物師」の発刊に合わせて開催した企画展「市貝町の宮大工・彫物師展」が好評で、前年同時期に比べ約300人が増加した。
R4	1,607	18.9	17.9	
R5	1,942		21.6	
R6	3,078		34.2	
R7				

目標指数の点検・評価

施策6 生涯における学びの支援

6-4 目標指数

成果指標		図書・CD等貸出数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）		目標値（R7）
点	70,440	73,000		77,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	60,600	83.0	78.7	<p>図書館利用者が増加している一方、図書・CD貸出数は減少している。</p> <p>館内で、本を読む利用者が増加しているものの、資料の貸し出し数の増加につながっていない。</p> <p>今後は、学校司書と協力し、団体貸し出しに注力し、こどもの読書習慣の定着に取り組むほか、貸出数の拡大に取り組むたい。</p>
R4	63,665	87.2	82.7	
R5	64,670		84.0	
R6	63,377		82.3	
R7				

6-5 目標指数

成果指標		図書館郷土資料蔵書数		
単位	現状値（R1）	中間目標値（R4）		目標値（R7）
冊	7,038	7,150		7,270
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	7,243	101.3	99.6	<p>市貝町立図書館では、その特色として郷土資料の充実を掲げている。そのため県内各機関からの寄贈資料を積極的に受け入れ整理し、郷土資料の開架を1階の歴史民俗資料館出入り口付近に設置するなど、利用者が利活用しやすい環境を整備している。高価な資料も多く、開架や書庫の収容量にも限りがあるなど課題もあるが、今後もこの特長を伸ばせるよう力を入れていく。</p>
R4	7,213	100.9	99.2	
R5	7,292		100.3	
R6	7,351		101.1	
R7				

目標指数の点検・評価

施策7 文化・芸術の振興

重点目標	伝統文化や文化財の保存と継承を図るとともに、町民の文化・芸術活動の活性化を促進し、町民の郷土愛の醸成と文化水準向上につなげます。
------	--

重要施策

1 文化・芸術の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定文化財等の保存管理やその利活用の促進 ・ 郷土芸能及び伝統工芸の保全と発表の機会等を通じた後継者の育成 ・ 町民による文化・芸術活動の促進 ・ 郷土の歴史や文化を学ぶ機会の提供
------------	---

7-1 目標指数

成果指標		指定文化財数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
件	41		43	46
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	42	97.7	91.3	無形文化財保持者の死亡等不可抗力による減少もあるが、トータルで増加している。 令和6年度には横塚古墳出土器財埴輪を町の有形文化財に指定し、指定文化財数を増やすことができた。
R4	42	97.7	91.3	
R5	42		91.3	
R6	43		93.5	
R7				

目標指数の点検・評価

施策7 文化・芸術の振興

7-2 目標指数

成果指標		入野家住宅来館者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	1,205		1,250	1,300
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	549	43.9	42.2	屋内の様子分かる解説動画が視聴できる二次元コードを設置し、開放日以外の来訪者にも対応できるよう取り組んだ。 今後も、来場者が安心安全で快適に過ごせるよう敷地内環境整備を進めると共に、映画のロケ地利用など新たな活用の方策を探っている。
R4	462	37.0	35.5	
R5	514		39.5	
R6	386		29.7	
R7				

7-3 目標指数

成果指標		音楽芸能大会参加(団体)数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
団体	34		34	34
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	0	0.0	0.0	令和6年度においては、小学生の団体に声掛けするなど、参加団体数の拡大に取り組んだ結果、前年より4団体多い31団体が参加した。 高齢化や練習不足を理由に文化協会音楽芸能部会の会員数も減少の一途をたどっており、新規会員の確保が課題となっている。
R4	0	0.0	0.0	
R5	27		79.4	
R6	31		91.2	
R7				

目標指数の点検・評価

施策7 文化・芸術の振興

7-4 目標指数

成果指標		ギャラリー展出品数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
点	400		425	450
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	570	134.1	126.7	公民館の教室講座の生徒への出品呼びかけや 開催場所の変更（面積拡大）もあり、出品数は 目標値を達成している。 展示数は前年度に比べて微減しており、新 たな出品者の確保が課題となっている。
R4	541	127.3	120.2	
R5	513		114.0	
R6	472		104.9	
R7				

目標指数の点検・評価

施策 8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

重点目標	生涯を通じてスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深め、健康な生活が維持できる環境づくりに努めます。
------	--

重要施策

1 スポーツ及びレクリエーション活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ・レクリエーションの活性化 ・施設の整備・充実 ・広域での施設の相互利用の推進
-----------------------	--

8-1 目標指数

成果指標		生涯スポーツ参加者数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	2,035		2,400	3,000
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	765	31.9	25.5	令和6年度は、再開した各種大会等で参加者が微増した。 その中で、主要事業となるいちかいスポレク祭においては、「こどもまつり」との合同開催としたことで、未就学児から小学生の参加が大きく増加し、賑わいを見せた。 今後も参加しやすい大会・行事を用意していく必要がある。
R4	653	27.2	21.8	
R5	1,863		62.1	
R6	2,203		73.4	
R7				

目標指数の点検・評価

施策8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

8-2 目標指数

成果指標		ニュースポーツ教室		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
件	17		20	22
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	15	75.0	68.2	令和6年度においても、5月から11月を教室期間とし、月1～2回開催した。 講師はスポーツ推進委員が務めており、講師の都合により開催できないこともあるため、増加に転じることが難しい。 ニュースポーツの認知度が低いことも明白であるため、周知の内容や手段を再検討する必要がある。
R4	12	60.0	54.5	
R5	12		54.5	
R6	12		54.5	
R7				

8-3 目標指数

成果指標		総合型スポーツクラブ会員数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
人	297		320	350
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	243	75.9	69.4	前年度から微増となっている。 要因としては、既存会員の友人や、バスケットの人気の高まりによる児童の加入が主なものと思われる。 今後は、中学校部活動地域移行の受け皿を想定し、児童生徒が求める種目教室の準備、さらにはクラブ運営の体制強化を図っていく必要がある。
R4	245	76.6	70.0	
R5	259		74.0	
R6	268		76.6	
R7				

目標指数の点検・評価

施策 8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

8-4 目標指数

成果指標		農業者トレーニングセンターの利用団体数		
単位	現状値（R 1）	中間目標値（R 4）		目標値（R 7）
団体	0※	13		15
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	13	100.0	86.7	令和6年度は、前年度と比較して実績値は低下したが、町内の利用団体は前年度と変わっておらず、町外の利用団体数が減少した。 町外団体は、地元施設の予約状況等により増減に影響が出やすい。 今後は、県内外の学生を中心としたスポーツ合宿の利用誘致や、中体連の大会会場としての受け入れを行っていききたい。
R 4	15	115.4	100.0	
R 5	30		200.0	
R 6	26		173.3	
R 7				

※農業者トレーニングセンターの令和元年利用団体数については、耐震補強工事による利用中止による。

8-5 目標指数

成果指標		各種スポーツ団体、サークル数		
単位	現状値（R 1）	中間目標値（R 4）		目標値（R 7）
団体	50	52		55
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	50	96.2	90.9	従来の自治会等の地域派生団体が減少する一方、友人や企業職員による団体・サークルが近年増えてきている。 活動をするための目標となりうるような大会や行事を企画し、そこに付随して団体数が増えるよう努力していききたい。
R 4	54	103.8	98.2	
R 5	55		100.0	
R 6	60		109.1	
R 7				

目標指数の点検・評価

施策8 スポーツ及びレクリエーション活動の推進

8-6 目標指数

成果指標		学校施設（夜間開放）の利用団体数		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
団体	32		25	30
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	20	80.0	66.7	学校施設の利用団体に変動は無かった。 しかし、団体数こそ（中間）目標値に届いていないが、どの学校施設も週の大半は利用されている状況であり、新たな利用時間の枠を確保する方が困難な状況である。
R4	20	80.0	66.7	
R5	22		73.3	
R6	22		73.3	
R7				

目標指数の点検・評価

施策 9 人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進

重点目標	町民一人ひとりが互いに尊重し合う人権尊重の社会を目指すとともに、男女がその能力と個性を十分に発揮できる社会のあらゆる分野に、ともに参画できるまちづくりを進めます。
------	---

重要施策

1 人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重社会の理解の促進 ・男女共同参画意識の啓発 ・社会活動への参加の促進と支援体制の充実 ・高齢者や障がい者などとの交流の推進 ・差別や人権侵害に関する相談体制の充実
------------------------	--

9-1 目標指数

成果指標		町設置各種委員会の女性委員の割合		
単位	現状値（R1）		中間目標値（R4）	目標値（R7）
%	26.4		28.0	30.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R3	24	84.3	78.7	各分野の委員会・審議会が、政策や方針決定の場への女性の参画を促進し、積極的に女性の意見をまちづくりに反映させていくよう努めている。令和4年度に策定した「男女共同参画い・ち・か・いプラン」第四期計画の実現に向け、対策を講じていく。
R4	25	88.6	82.7	
R5	25		82.7	
R6	27		90.0	
R7				

目標指数の点検・評価

施策 9 人権教育・青少年教育・男女共同参画の推進

9-2 目標指数

成果指標		特設人権相談所の開設回数		
単位	現状値（R 1）		中間目標値（R 4）	目標値（R 7）
回	4		5	6
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	2	40.0	33.3	関係機関と協力し、市貝町役場や保健福祉センターで、年4回の特設人権相談所を開設し、人権に関する相談体制の充実に努めた。
R 4	4	80.0	66.7	
R 5	4		66.7	
R 6	4		66.7	
R 7				

9-3 目標指数

成果指標		ジュニアリーダースクラブ会員の各種行事への参加率		
単位	現状値（R 1）		中間目標値（R 4）	目標値（R 7）
%	41.3		45.0	50.0
年度	実績値	中間目標値 に対する達成率	目標値 に対する達成率	自己評価
R 3	48	107.1	96.4	地域課題を整理し、課題解決に向けて自分がやってみたいことを話し合いを行い、活動の充実に取り組んでいる。 令和6年度には、令和7年度に開催する、高校生バンドを中心としたイベント「おかのぼRock.Fest」の開催に向け、話し合いを行った。
R 4	33	74.0	66.6	
R 5	34		67.6	
R 6	41		82.0	
R 7				

点検・評価にあたっての学識経験者からの意見提言（要旨）

点検・評価は、令和6年度の各施策に掲げる事務事業の取り組みに対して実施した。

基本目標4 誰でもどこでも育み学びあえる魅力に満ちたまち

- 意見提言 ○ファミサポは、利用しやすくなっていると思うが、制度の周知・説明不足で利用者が伸びていない。利用者を伸ばすためにも、ファミサポという言葉をもっと広めてほしいので、周知の徹底を行ってほしい。
- 旧小貝中央小学校では、キンブナプロジェクトも行っているのので、他の施策と抱き合わせるのもよいかもしれない。
- 回答 →ファミサポの認知については、パンフレットにお試しのクーポンをいれるなど、子育ての負担を減らせるということのPRも含め周知を徹底していきたい。
- 意見提言 ○地域子育て支援センター利用者数は、数値的には低いですが、利用者が多いほうがよいのか。ネガティブな自己評価となっているが、ネガティブな捉え方をしなくてもよいのでは。
- 回答 →ご指摘のとおり、利用者が少ないということは、必要とする人が少ないといったポジティブな部分でもあるので、利用者の増を目指すだけでなく、子育て環境全体の向上に努めていきたい。
- 意見提言 ○保護者のニーズに対応した保育内容充実が図られていると回答した保護者の割合が高く、ニーズが複雑化している中で、高い満足度を得ているのは素晴らしい。
- 回答 →引き続き、保護者のニーズを的確に把握し、施策に反映していきたい。
- 意見提言 ○学力の達成度(小・中)において、計算力は強いが、国語力が弱いためか、文章問題が苦手な子どもををよく見る気がする。学期末になってそのままの状況だと、次学年以降も苦労してしまう。
- また、タブレットの使用時間が増えると学力が低下するという話もあるが、町としてはどういった形で活用していく方針なのか。
- 回答 →国語力と文章問題の読解力との結び付きは課題ではある。端末に頼りすぎない、「ツール」としてうまく活用していけるよう学校に指導・調整をしていきたい。
- 意見提言 ○GIGAスクールにおける、端末の買い替え・更新時期が近づいていると思うがどういう状況になっているのか。
- 回答 →令和8年度から新しい端末で授業が行えるよう現在、端末の更新を行っている。更新に当たっては、国からの補助が2/3、町持ち出しが1/3となる。
- 意見提言 ○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると答えた児童生徒の割合は、問題の出し方で、子どもたちの回答が変わるのは興味深い。ポジティブな考えができるようになる聞き方ができるとよいと思う。
- 回答 →学校の下地もあり、子どもたちの意欲がわき、中学生の肯定的意見が大きく伸びている結果につながっている。教科をまたいで、学びを広げる力を養っていかれたらと考えている。
- 意見提言 ○県のエキスパートティーチャー派遣とはどういうものか。
- 回答 →県が市町の要望に応じて、体育教師のOBや地域のスポーツクラブの指導者を派遣する事業となっており、技術指導より運動全般を楽しく教えるという取り組みとなっている。
- 意見提言 ○教育相談の目標値を高くするのであれば、スクールカウンセラー1名では難しいと思われる。
- 回答 →町としては1名であるが、状況により県のスクールカウンセラーも導入できる状況である。専門性を有するものであるもので、信頼づくり等は今後も課題である。

点検・評価にあたっての学識経験者からの意見提言（要旨）

- 意見提言 ○ 7月における食品値上げでは、2,000品目以上が値上げとなると聞いており、これに伴い、給食の材料費も上がると思うが、引き続き、頑張っておいしい給食を提供してほしい。
- 回答 → 物価高騰の影響を受け令和7年度は小学校200円・中学校300円の値上げをしたが、国の補助金を活用し、保護者負担が増えないようにしている。また、今年度については、国の補助金を活用し、一定期間の給食費無償化も行っており、引き続き保護者負担を抑えながら、給食の質を維持していきたい。
- 意見提言 ○ 有機農業について、子どもたちに正しく周知しないと農薬を悪いものだと思わせ、勘違いしてしまう恐れがある。
- 回答 → 農薬を使った農作物が悪いものといった誤った認識とならないよう注意しながら食育授業を実施していきたい。
- 意見提言 ○ 子ども110番の家の場所を子どもたちはどの程度把握できているのか。スクールバスの利用が多く、歩き等の通学児童生徒が少なくなっており、設置されている場所の数を増やしていくのも重要だが、子どもの認識をどうしていくかも重要である。
- 回答 → 子どもたちが、子ども110番の家がどこにあるか把握することが重要であり、案内の後は学校に任せてしまっている部分もあるので、さらなる周知をしていきたい。
- 意見提言 ○ 小中学校体育館への空調設置はどうなっているのか。
- 回答 → 今年度整備を進めており、体育館の主な利用箇所である3m以下を重点的に冷やせる大型の空調設備を整備予定である。今後の学校の在り方が不明確中での整備となるので、断熱性確保の工事は行わず、今、学校に通う子どもたちの快適性や防災機能の向上を最優先した内容となっている。
- 意見提言 ○ 読解力の向上に関しては、図書館利用は大きく貢献できると思うので、今後も図書館は頑張してほしい。高齢者向けの取り組みは面白く、全年齢に対応する図書館は重要だと思う。
城見ヶ丘運動公園等でのスポーツ大会に参加している子どもたちを受け入れられような取り組みがあるとよいと思う。
また、資料館にも学芸員配置があるとありがたい。
- 回答 → 幅広い年齢層に対応できる資料を揃え、多くの方に利用いただけるよう、様々な媒体を活用し、図書館の情報を発信していく。
学芸員の配置については、他市町の状況を調べ、必要に応じ検討していく。
- 意見提言 ○ CDや図書貸し出しが伸び悩んでいる部分もあるが、サブスクリプションが使えない人のために今後も頑張してほしい。
県博物館との連携も評価できると思うので、今後も続けて頂きたい。
- 回答 → 引き続き、資料の充実にも努めるとともに、県博物館との共同事業「地域移動博物館」は例年好評で、多くの方に足を運んでもらっているので、引き続き県博物館と連携事業を行っていきたい。
- 意見提言 ○ 入野家住宅の来館者数は、どのように数えているのか。また、来場者への案内動画の視聴数は、どのように数えているのか。
- 回答 → 来館者数の集計は、芳名録や団体利用の人数をカウントしており、案内動画の集計は、YouTubeの再生回数のカウントとなっている。案内動画の現在の再生回数は380回となっている(R7.7.16時点)。
- 意見提言 ○ 入野家住宅の管理は頑張っていると思う。様々な制約等もあると思うが、もし、ここで宿泊体験などができればかなり話題になるのではないかと思う。
- 回答 → 平成27年度に作成した、重要文化財入野家住宅 保存活用計画に沿って、今後の利活用について検討していきたい。

点検・評価にあたっての学識経験者からの意見提言（要旨）

- 意見提言 ○ 文化芸能大会は、子どもたちとコラボレーションするのも話題性があると思う。
- 回答 → 音楽芸能大会は参加者の高齢化が進んでいる。こどもや若者などに積極的に声をかけ、若年層の参加を促していきたい。
- 意見提言 ○ スポーツ推進委員によるモルックの出前教室は、とても盛り上がったが、認知度が低いのもっと広めてほしい。ニュースポーツとして、モルックは流行っていると思うので、今後、体育館が整備されれば、夏場でも活動が増やせると思う。
- 回答 → ニュースポーツ教室は5～12月のみ月2回程度行っている。出前教室は依頼があれば、それに合わせて柔軟に対応していきたい。
- 意見提言 ○ 大きな民間施設がない中で、部活動の地域移行をしていくのか。近隣市町との広域連携や合同での運営も検討してみたい。
- 回答 → 国の方針に合わせ、町が運営主体となり、9月から卓球部・柔道部の休日の活動を地域に移行する予定である。令和11年度からいきいきクラブが受け皿となれるよう体制強化を行っている。
- 意見提言 ○ 女性委員について、若い世代の方がいるのか。委員の高齢化があるので、若い女性委員に増えてほしい。
委員を男女同数にするならば、男性委員を欠員とすることが考えられると思う。
人数にこだわるのか、男女比率にこだわるのかどこに重点を置くかが難しい部分である。
- 意見提言 ○ 教育大綱の次期の策定にあたり、目標値を達成しているものは項目から外すのか、さらなる目標値が設定されるのか。
- 回答 → 町の最上位計画である振興計画と整合し、新たな教育大綱を策定することになるが、施策の成果を測るうえで必要であれば、現大綱において目標値を達成している指標であっても継続することとなる。また、施策が変わることになれば、それに合わせ新たな指標を設定することもあり得ると考えられる。
- 意見提言 ○ 現状をより良いものとする場合、金銭的な課題や教職員の負担となるような新たな課題が出てくるので、現場の負担が増えないような施策を検討いただきたい。
- 回答 → 新たな施策については、施策の効果と現場サイドの負担などを十分考慮し検討していきたい。
- 意見提言 ○ 中学校の給食運搬用ワゴンの導入、小中学校体育館への空調の導入やスクールバスの拡充はうれしいことなので、トイレの洋式化なども引き続き頑張してほしい。
- 回答 → 学校の今後の在り方も含め、子どもたちがよりよい環境で学ぶことができるよう施設整備に努めていきたい。



令和 7 年度
教育委員会点検・評価報告書
(令和 6 年度対象)

令和 7 年 7 月 策定

市貝町教育委員会

こども未来課 TEL 0285-68-1119
生涯学習課 TEL 0285-68-0020